

公益社団法人私立大学情報教育協会
平成30年度第1回情報教育研究委員会合同会議議事記録
情報教育研究委員会
情報リテラシー・情報倫理分科会
分野別情報教育分科会

I. 日 時：平成30年6月2日（土） 14：00～16：00

II. 場 所：私立大学情報教育協会会議室

III. 参加者：斎藤委員長、笈アトバ伊、大原アトバ伊、玉田主査、金子委員、本村委員(Skype)、
児島主査、角田委員、渡辺アトバ伊(Skype)
事務局：井端事務局長、野本（記）

IV. 検討事項

9月5日のICT戦略大会分科会に向けて、3コマ授業シナリオ・反転教材、対面授業の教材、
専門教育との連携実践報告、推進方策などの進捗及び分担、完成スケジュール調整をした。

1. 授業モデルの提案について

- (1) 15コマの授業シナリオは、昨年度の大会で2タイプを提示済みで確定としていることを確認した。
- (2) 到達目標ABCの3コマ授業シナリオについて、それぞれ授業（事前にビデオ教材を視聴）の流れをシナリオとして1枚に整理したものと、次回の委員会完成目標とした。

2. 教材の作成について

(1) 3コマの反転授業教材

- ・ 到達目標Cは、前回の委員会で更新案が提示されていることを確認し、次回の委員会完成目標とした。完成確認でビデオ化を予定している。
- ・ 到達目標Aは、ながらスマホをテーマに班と個人で意思決定をまとめ発表する内容の更新案が提示された。意見としては、問題発見・解決の枠組みのどの部分に対応しているのか関係を追加してはどうか、関連付けの説明が難しい、グループワークは例を提示して誘導が必要ではないかなどがあり、次回の委員会完成目標とした。
- ・ 到達目標Bは、情報の受信者・発信者として気を付け、より良いネットコミュニケーションの実現に向けたレポートにまとめる内容の更新案が提示された。意見としては、ビデオ化の時間も長いことから同じ図の掲載を止めるシンプルにして、一部参考で分離してはどうか、ネットの負の部分を確認して操られている意識や対策の投げかけ程度で良いのではないかと、タイトルも自分がより良く行動するためにはとってはどうかなどがあり、次回の委員会完成目標とした。

(2) 対面授業の教材について

- ・ 分科会で紹介する教材は、「地域連携型プロジェクト演習教材」（発表10分）、「データ処理入門教材」（発表5分）とすることにし、7月13日完成を目標とした。また、保育者育成キャリア教育教材も発表はしないが教材として完成させることにした。

3. 専門教育との連携実践報告については、昨年度後期に授業を行った理系（機械工学）の授業モデルの実践報告（発表15分）を行うことにし、次回の委員会完成目標とした。

4. その他の推進方策は、分科会で10～15分説明することにし、「教材有効性の検証方法検討」は第2回委員会、「学修到達度の評価基準と評価方法検討」は第2回委員会、「ガバナンスに対する理解促進策検討」は第3回委員会、「推進方策検討」は第4回委員会で検討することにした。

V. 今後のスケジュール

- ・ 次回の委員会は、6月22日（金）18時から開催し、3コマ反転授業のシナリオと教材、専門教育との連携実践報告、教材有効性の検証方法、学修到達度の評価基準と評価方法について確認・検討を進めることにした。